

事例ノート、CASE 1

大阪府柏原市
株式会社 オカモトガーデン 様

2000坪の園芸センターの一角に エクステリアのモデルガーデンを新設し エンドユーザー様100%をさらに推進

当社は、父が27年前に観葉植物のレンタル業からスタートし、18年前にここで園芸店を開いて、現在に至ります。

私は12年前に入社したのですが、ある日名古屋へ仕入れに行った折に、園芸とエクステリアが合体したショップを見て、「これだ!」と思いました。それから仕事の合間に図面描きの講習などを受けて準備し、8年前にエクステリア部門を立ち上げました。

しかし来店されるお客様は大半が花や植木が目当てです。そこで、そういう方々をもっとエクステリアに引き込むために、具体的な生活提案を盛り込んだ展示場をつくらうと決意しました。

計画にあたっては、勉強会などで親交のあった(株)ひまわり造園土木・浦崎様(本誌29号に登場)をはじめ、さまざまな同業者の方に相談に乗っていただきました。たとえばM.シェードを“カーポート”でなく“団樂の場”の提案に使ったのは、浦崎様のアドバイスによるものです。こうして今年の春、80坪のモデルガーデンが完成。GWにはリニューアルオープンフェアを開催し、来店客1日200組、見積もり20組とますますの成績でした。現在、お客様はほぼ100%エンドユーザー様です。一時期ハウスメーカーと半々ぐらいでしたが、自分たちらしい提案をしたかったので、ハウスメーカーと縁を切り、エンドユーザー様1本でやっていくことに。今回のモデルガーデンもその戦略の一つです。

エクステリア部門のスタッフは私を含めて6名。私と店長の北條が営業兼プランナーで、ほかにキャド担当1名、現場管理3名です。営業とプランナーを兼ねるのは、お客様の話を直接聞いてプランに反映させたいというこだわりからです。実績は月15~20棟です。

デザインのポリシーは、お客様のご要望をしっかり採り入れたうえで、プロとして判断し設計することと、植栽や緑をできるだけプラスして安らぎの空間をつくることです。

今後は年2回のチラシ配布やHPなどで、この存在をもっと浸透させていきたいですね。また、今までは9割方現地へ打ち合わせに行っていましたが、モデルガーデンに相談室も設けたので、来店して打ち合わせする体制を取りたいと思っています。



専務取締役
岡本 圭一郎 様



週刊エクステリアに「売れる展示場を探求してリニューアル、ガーデンセンターとの相乗効果見込む」という記事が掲載されました。



モデルガーデンを新設し、今年のゴールデンウィークにリニューアルオープンフェアを開催。

園芸部門+エクステリア部門 相乗効果で集客アップへ

私は27年間園芸ひとすじで、エクステリア部門は息子に任せています。ここは2000坪の敷地と18年の歴史があり、花苗や樹木のガーデンセンターとしては地域でかなり知名度があります。エクステリアの展示場オープンを機に、園芸部門との相乗効果でさらにお客様を呼び込みたいですね。



代表取締役・岡本光生様(写真左)



モデルガーデンの周囲はレンガや縦格子でゆるやかに囲われています。たっぷりあしらった緑がさまざまな異素材を違和感なく調和させています。



M.シェードの下の庭。家族がくつろぐだけでなく、ここで料理して食べられるアウトドアキッチンも提案。



M.シェードの明るさが下の空間に開放感をもたらしています。向かいの木造の建物は事務所。



2000坪の広大な園芸センターにはビニールハウスが連ち並び、鉢や苗、植木などがたくさん販売されています。



最新の素材・デザイン・技術を取り込んだモデルガーデン。M.シェードをファサードに設置して、「アウトドアリビング」の空間づくりを提案。



門から玄関へのアプローチは、防錆性にすぐれたウッドデッキをはじめ、さまざまな床材を使用し、お客様の参考に。

リニューアルガーデン

M.シェードの前庭にアウトドアの団樂を提案
コンサルティングルームでじっくり相談も



店長・北條 渉様

リニューアルオープンフェアは大盛況で、モデルガーデンによる具体的な生活提案を大勢のお客様にご覧いただき、「花だけの店ではない」と印象づけられたと思います。私は営業兼プランナーでもあり、平日はなかなか常駐できませんが、今後お客様を呼び込む体制を強化し、「エクステリアのことならあそこに行こう」と思っていたいただける場所にしたいですね。



コンサルティングルームにはパソコンが2台設置され、事例を参考にしたり、プランを検討しながらじっくり話し合いができます。



ZERO片岡純氏デザインのガラスクラフトを展示。モダンなエントランスを提案しています。



門まわりをはじめ所要所に照明器具を設置し、美しい夜景も提案。お客様の反応も上々です。



どこを見回しても豊かな緑に包まれ、心癒される園内。



塀や門まわりのデザインや素材使い、植え込みのしつらえなど、お客様の参考になる実践的な提案が盛りだくさん。



ビニールハウスの入り口はそれぞれ趣向を凝らしたデザインで演出され、まるで植物園がテーマパークのような楽しさです。